

令和6年度 第19回 群馬県高等学校弓道春季大会
兼 第68回関東高等学校弓道大会県予選会（個人） 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 2 開催日 令和6年4月27日（土） 男子団体戦予選決勝・男子個人戦予選決勝
4月28日（日） 女子団体戦予選決勝・女子個人戦予選決勝
- 3 日程 監督会議（各校顧問） …近的射場 8時00分～
出場校受付（顧問のみ）…近的射場脇正面 監督会議終了後
開会式（代表選手1名）…近的射場 受付完了後
*係職員と当番校生徒は開場の準備が整い次第入場し、会場準備にあたる。（7時45分～入場予定）
*選手は8時00分以降当番校生徒入場後に入場できる。
*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
- 4 会場 ALSOKぐんま武道館弓道場（遠・近）前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径3.6cm霞的
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム（1チーム4名以内…選手3名・補欠1名）
個人戦…男女とも4名以内（団体出場選手は団体戦の的中を個人戦の的中とする）
- 8 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 9 競技方法 3人立 3～4射場 立射
団体戦 予選…1チーム12射（各自4射）を行い、女子5中以上男子6中以上が決勝に進出する。
団体戦 決勝…1チーム12射（各自4射）を行い、予選との合計の的中により順位を決定する。
*選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
*時間制限をおこなう。
○5分30秒で予鈴、6分で本鈴の合図をし、本鈴と同時発射は無効とする。
○時間制限により無効となった矢は、団体戦の的中を個人戦の的中とするため個人戦の的中も無効とする。
○団体合同チームの計時は参考とするが、著しく遅い場合は本部より顧問を通して注意する。
個人戦 予選…各自4射を行い、3中以上を通過とする。
*3中者が4人以下の場合は2中者による代表決定遠近競射を行う。
個人戦 決勝…各自4射を行い、予選との合計の的中で順位を決定する。
*団体不通過でも予選で3中以上した者は個人戦の対象とする。
*予選で3中以上してない者は団体戦決勝で4射引いたとしても個人順位決定の対象にはならない。
- 10 競技順序 ①団体戦予選・個人戦（補欠）予選—（団体戦1名のみのチームは団体の最後に合同チームで引く）
団体12チーム→補欠12名→団体12チーム→補欠12名→団体12チーム→補欠12名→残りの団体→残りの補欠
②団体戦決勝・個人戦（補欠）決勝
団体予選通過チーム→団体戦落ち個人戦→補欠3中以上による決勝
③団体順位決定競射
④個人戦予選
⑤個人戦決勝
⑥個人出場権決定射詰競射（団体戦出場者で個人順位決定対象者も含む）
⑦個人順位決定遠近競射
⑧閉会式・表彰式
*代表権獲得校監督会議は実施しない。
*団体・個人予選敗退や個人競射に該当しないことが決定した場合は、片付けをして会場から退場する。
- 11 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする）
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする）
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- 12 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
大会申込までに群馬県高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。

選手の学年は高校3年生以下とする。

参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

13 表彰 男女ともに

団体戦1位 賞状・楯・優勝杯

団体戦2位～3位 賞状・楯

団体戦4位 賞状

個人戦1位～5位 賞状・メダル

個人戦6位～8位 賞状

*昨年度団体戦優勝校 「男子・伊 工」「女子・高経附」は優勝カップの返還をする。

14 代表権 男女とも個人戦上位5名に代表権が与えられる。(団体戦の代表権は県高校総体で決める)

*令和6年度第68回関東高等学校弓道大会 於・栃木県宇都宮市

令和6年6月8日(土)～6月9日(日) [6月7日(金)は開会式]

15 参加料 1人500円(当日受付に払込むことー当日欠席であってもエントリー人数分を支払う)

16 申込方法 申込ファイルに入力の上、4月18日(木) 16:00(期限厳守) 必着で下記宛にメールする。

申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp

*高校総体の申込め切と同じのため、高校総体の申込とは別のメールで申込む。(件名を変えて2回メール送信する)

17 プロ編成 4月23日(火)9:30より市立太田高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。

18 その他 新型コロナウイルスの対応については、原則、各中央競技団体のガイドラインや自治体の指針に従うこととし、その他、教育委員会や高体連事務局からの方針等があった際はそれに従うこととする。

19 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。

②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。

③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。

④弓具には記名しておくことが望ましい。(忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく)

⑤碟の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手碟、小指付根押手碟、ゴム底足袋の使用は禁止する。

⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。

⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。

(制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける)

⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。

弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。

競射で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。的中の疑義は介添えが矢を抜かないうちに行う。

介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。

⑨服装等については顧問総会の取り決めに従うものとする。

⑩控や控室、矢取や看的待機場所での私語はしない。

⑪貴重品の管理は各自で行うこと。

⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。

⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。

◎大会申込書の提出で、校名・学年・氏名の個人情報取り扱いについて、承諾を得たものとする。

プログラム・事務連絡文書への記載、プログラム・結果のWebページ掲載に使用する。

※プログラムをWeb公開する場合にはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。